平成26年度　事 業 報 告 書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 ホロコースト教育資料センター

1. 事業実施の方針

全国の学校や自治体への展示パネルの貸出と訪問授業・講演会を継続して実施した。アウシュヴィッツ解放70年の節目にあわせて、自主事業として映画上映会とシンポジウムも開催した。すべての事業を通して、合計16,753人に学ぶ機会を提供した。2014年2月に東京都内の図書館で『アンネの日記』や関連の本が破られる事件があったが、ホロコースト史への関心を高め、教育・広報事業の実施につなげることができた。

**①教材の制作及び提供事業 (展示パネルの貸出)**

展示パネル8件、DVDなど視聴覚資料10件の貸出を実施した。パネル貸出先は以下のとおり。

・勇気の人 - 杉原千畝 (NPO法人雄勝まちづくり協会・宮城)

・アンネ・フランクと希望のバラ(京田辺市立中央図書館・京都、春日部市中央公民館・埼玉)

・ハンナのかばん(春日部市中央公民館・埼玉、秦野市立南が丘中学校・神奈川、岡谷東高校・長野、

みえ県民交流センター・三重)

・生きのびた少年ジョージの物語 (中央区立銀座中学校・東京)

**②書籍・資料などの収集及び提供事業**

所蔵するホロコースト関連の本(和書400冊)と映像資料の貸出は、利用会員とボランティア、パネル借用者に限定して行った。今年度の貸出は27冊。インターネット図書館「ブクログ」(http://booklog.jp/users/therc)を利用した情報提供を重点的に行った。登録数は1270冊。

**③講演会、セミナー等の開催事業**

**●訪問授業・講演会**

○全国の小・中学校、高校、大学、自治体まで57ヶ所で、約8,935人を対象に実施した(昨年57ヶ所、11,500人)。命の授業、道徳学習、PTA主催講演会、人権研修会など様々な場で依頼を受けた。インターンの佐波かみらさんにも同行してもらうことができた。

教材として活用してきた「ハンナのかばん」は、ポーランド国立アウシュヴィッツ博物館から借り受けて15年目で、正式に寄贈していただくことができた。

【テーマ別】「ハンナのかばん」47、「杉原千畝」10、「アンネ・フランク」3

【訪問先別】小学校17, 中学校21, 高校6, 自治体4, 団体7, 大学2

【新規or継続】新規17, 継続40

【公立or私立】小学公立12, 小学私立5, 中学公立15, 中学私立6, 高校公立2, 高校私立4

○当NPOの自主事業として、アウシュヴィッツ解放70年にあわせて、「ホロコースト記憶の国際デー2015 in 東京」(会場 : 国連大学)を開催した。

第一部は映画「ショアSHOAH」の上映、第二部は、ホロコースト記念館の大塚信館長と鳥取大学の高橋健司准教授、Kokoro代表・石岡史子の三名でシンポジウム「いまホロコーストを知る意味　人間を知る、世界を知る」を開催。大学生ボランティア6名を含む70名の参加者を迎えた。

本事業の公式サイト(<http://npokokoro.wix.com/auschwitz70>)に、参加大学生から一言の映像と関連報道を掲載した。

**④人権・平和教育に関する普及啓発事業**

　**●「Kokoro通信」(ニュースレター)と「Kokoroメルマガ」の発行**

Kokoro通信(A4、6ページ)は、これまで8月と1月の夏冬に発行していたが、昨年より4月と10月の春秋に変更した。発行部数は1回につき約1200部で会員を中心に届けた。ほかにも、訪問授業/展示パネルの利用先で先生･自治体･個人を中心に配布した。ホロコーストの歴史を教材とした人権教育の意義や成果を分かりやすく伝え、理解してもらうための手段として発行。

Kokoroメルマガは、6回発行した。イベント情報ほか様々な話題を各号500名にメールで提供した。「ホロコースト」の歴史から学ぶことがより身近に感じられるような内容を心がけた。

**●その他のSNS(ソーシャルネットワークサービス)を利用した情報発信**

ブログやフェイスブック、ツイッターなどのSNSによる定期的な情報発信を継続して行った。海外のニュースや、新刊図書の案内、Today in History(今日は何の日)、など歴史を身近に感じてもらえるような情報発信を心がけた。

**●メディア寄稿、取材**

2014年2月に東京都内の図書館で『アンネの日記』や関連の本が破られる事件があり、また2015年1月はアウシュヴィッツ解放70年の節目にあたり、ホロコースト史への関心が高まった。以下のようなメディアでホロコースト教育の意義を発信することができた。

○図書館教育ニュース2014年5月号 - 「ユダヤの子どもたちに何が起こったのか」

少年写真新聞社発行のB1カラー壁新聞。解説付録つき。全国中高校の3校の1校が購読。

○月刊『保育情報』2014年9月号 - 巻頭随想「“いのち”への想像力を育むかばん」

○月刊『のんびる』(パルシステム)2014年8月号　「ハンナのかばん」

○朝日小学生新聞1月27日　「アウシュビッツ解放70年　差別・暴力のない社会を」

○NHK首都圏ネットワーク2015年1月27日「アウシュヴィッツ70年　改めて考える”差別”」

　　(NHK国際ニュースでも放送)

○NHKラジオ2015年2月12日　「夕方ホットトーク」「ホロコーストを教育の場で」

○J-waveラジオ2015年2月13日「JAM THE WORLD」「ホロコーストはなぜ起きたのか」

(その他の報道は、こちらに掲載→<http://npokokoro.wix.com/auschwitz70>)

**●gooddo(グッドゥ)を活用した情報発信**

昨年度より利用を開始した。月二回、インターネット上にKokoroの紹介を載せると、見てくれた人の数に応じて、広告料が入るというNPO向けのサービス(無料)。活動報告だけでなく、ホロコースト教育の意義や歴史を身近に感じることができるような画像を作成して合計24回発信、1,121名に届けた。

2. 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 |  | 従事者人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額 |
| ①教材の制作及び提供事業 | ホロコーストの教材パネルやビデオの制作・貸出 | パネル8回DVD10回 | 全国の学校、自治体、市民団体など | 1名 | 小中高校生、保護者及び教育施設関係者など約5,000名 | 957,547 |
| ②書籍・資料などの収集及び提供事業 | ホロコーストに関する書籍・資料を貸出 | 図書27回 | 事務所 | 1名 | 教育関係者、一般20名 | 283,951 |
| ブクログ(登録1270冊) | 随時 |
| ③講演会、セミナー等の開催事業 | 訪問授業および講演会 | 57回 | 全国の小中高校、大学、公民館、先生や保護者など | 2名 | 小中高校生、大学生、教員、保護者、一般約8,975人 | 1,031,626 |
| ホロコースト国際デー | 打ち合わせ1/11,24実施1/27 | 国連大学 | 70人 |
| ④人権・平和教育に関する普及啓発事業 | ニュースレター作成・配布 | 2回(7月、1月) | 事務所 | 2名 | 会員、教員、大学生、保護者など1200名 | 832,216 |
| メールマガジン | 8回 | 2名 | 350名 |
| ホームページ、ブログ | 随時 | 2名 | 不特定多数 |
| メディア寄稿・出演 | 10回 | 1名 | 不特定多数 |
| SNSツール1. Facebook

･NPO公式(購読859名)(前年800)･杉原千畝(購読103名)(前年77)1. ツイッター

･NPO公式(購読1297名)(前年1200)･ハンナ(購読72名)(前年57)･杉原千畝(購読224名)(前年207)･アンネ・フランク(購読85名)･英語(購読441名)(前年314)1. Mixi(購読31名)

④Pinterest ･NPO公式(購読32名)⑤You tube チャンネル | 毎日 | 2名 | 不特定多数 |
| Gooddo | 24回 | 1名 | 1,121人～不特定多数 |
| Kokoro事典(ホロコースト百科事典)(登録952語) | 随時 | 1名 | 不特定多数 |